



児童コーナー わかば通信



～児童向け出前講座開催報告～

岩手県立図書館では、平成 26 年度より、県内小学校を対象にスタッフが学校を訪ね、図書館の使い方についてレクチャーする「児童向け出前講座」を行っています。今回は、平成 27 年 11 月に行った、盛岡市立松園小学校での講座の様子をレポートします。

Aコース



としょかんでどんなところ？



オリジナルの分類ハウスを使用して図書館の本は、グループに分けられていることを説明。

Aコースの内容は、図書館全般の使い方や、機能を知ってもらうことを目的としています。今回は、学校からの依頼により、2年生に向けて、簡単な分類の説明と、学校図書室の配架についてレクチャーしました。

対象が2年生ということで、分類については一桁目までの簡易な説明を行い、本のラベルと一致していることを知ってもらいました。配架については、実際に図書室に移動し、ラベルと棚を確認してもらいながら説明しましたが、途中で「あっ！間違っって並べられてるよ！」と誤配架を発見する子もいました。説明の通りに本が並べられていることに、みんな納得していた様子でした。

普段、ラベルを認識してはいるものの、その意味については初めて知るという子がほとんどで、講義終了後には、「初めて本のラベルの意味が分かってよかった。」といった感想もありました。

みんなとても真剣に、集中してお話を聞いてくれました。



図書室の中には、読みたい本を探すヒントがあるよ♪
(分類表や配架図の場所や機能の説明)



Bコース



岩手県立図書館を知ろう！



Bコースは、岩手県立図書館への見学を予定している学校を対象に、事前学習として図書館の概要を案内するものです。

県立図書館はフロアも広く、コーナーもたくさんあるため、事前に県立図書館の見どころを紹介し、来館時により深く図書館の魅力を知ってもらえるようにと行っています。

講座当日は、学校図書館と公共図書館の違いや、県立図書館の蔵書や各コーナーの特徴を、クイズを織り交ぜながら触れました。「図書館についての勉強」という堅苦しさを感じさせないようなシナリオを作成しましたが、児童たちの反応もよく、図書館の基本的な機能を知ってもらう良い機会となりました。



最後の質問コーナーも活発でしたが、中には、鋭い質問もあり、回答に手間どる場面もありました。その場で答えられなかったものは、後日の見学対応時に、担当のコンシェルジュに詳しく回答してもらいました。今後も、ご要望があれば、県内各地を訪れたいと思います。